



# 地域協働学校運営協議会だより

地域協働学校運営協議会代表

第7回（12月7日）運営協議会会議の概要です。

■日時 令和6年12月7日（土）12時00分～13時30分

■場所 戸塚第三小学校 図工室

■出席者（委員）  
（オブザーバー）  
（事務局）  
（教育委員会）

## 給食試食を含めた会合

### 1 代表挨拶

展覧会を見学して、子供たちの発想の中に、どうしたらこのような作品ができあがるのか、考えさせられた。素晴らしい作品ばかりで、墨絵の日本の伝統から新しい発想に驚きと感動をありがとうございました。

### 2 校長より

- 展覧会を、昨日、今日と行うことができた。
- 会長のお声がけで、正門の前の工事が始まり、コンクリートの土台ができ、月曜日に青い色に加工する。この後、ガードレールがつく予定。でこぼこや危険箇所がなくなり安全に通行できます。ありがとうございました。

### 3 意見交換

- （委員）展覧会は、素晴らしいのでたくさんの方に見てもらいたい。町会などに案内がでているのか。
- （委員）ご案内は出している。
- （校長）昔はフォークはなく、先割れスプーンだけだった。その後箸がでて、フォークがでて、学校によっては、一回り小さいデザートスプーンを出している学校もある。
- （委員）パスタも先割れスプーンで食べてましたか。
- （校長）その頃は、パスタを短くカットして出していた。
- （委員）昔から給食だったが、2年生頃までは脱脂粉乳だった。
- （委員）鯨肉がよくでていた。堅かった思い出がある。
- （校長）近年でも、調査捕鯨の鯨肉を食べようと取り入れた献立がある。学校給食は狂牛病問題から基本的に牛肉を出さない。O157以降、生野菜を出さない。野菜は加熱か湯通し

をして出している。

- （委員）今日のサラダのキュウリも湯通ししているのか。
- （校長）湯通ししている。
- （委員）今日の量は大人用か。
- （校長）高学年の量になっている。パンだと厚さが違うので分かりやすい。
- （委員）子供が通っていたときは、残菜が多かったが、今も多いのか。
- （校長）残菜が無いように努力している。学校全体で少ない方で、児童たちはよく食べている。栄養士が各クラスを回って、こまやかに声かけをしている。
- （委員）減らしているのを見かけるが。
- （校長）配膳の時に調整するのは低学年は難しいので「いただきます」の後に、口を付ける前に量を調整して、食べられる児童はお代わりしている。
- 昨日、委員に1年生に「姿勢の講習」の出前授業を開催して頂き、背中をさすってもらい、「さすられて、どうだった」と聞くと「優しい気持ちになった」「気持ちよかった」とお互いにさすりあっていった。「家に帰ってママにしてあげる」「冬休みにおばあちゃんにしてあげる」と話していた。
- 桜の木のプロジェクトで、3年生が桜の枝をとっておいて、染め出しをして染め上げた布を枝のようにして桜を復活させた作品になっている。桜に思い入れがあり、桜の木を大切にとの思いで、桜の木のまわりに桜を大切にしようとポスターを作成して呼びかけたりしている。
- （委員）ピロティの映像（作品の制作過程の記録映像）が素晴らしかった。
- （校長）展覧会は、動かない発表だが、これまでの歩みを見ていただければと、図工担当教諭が中心に記録を取り、つなぎ合わせて仕立て

た。

- (委員) どんなに楽しく作っているかが、わかった。
- (委員) 子供たちがこんな家に住みたいとか、こんな帽子をかぶりたいとか、考えながら作っていると、本当にすごいと思った。
- (委員) 2年生の作品で帽子をかぶった写真が一緒にあり、よかった。
- (委員) 作品も多く、レベルが高いと思った。
- (森先生) 体育館に入り、圧倒された。色が多彩なのと、天井から張り巡らされたギャラリーで、1年から作品が並び、学年を追うごとに細かい作業ができていて、低学年は低学年で豊かな発想があつてよかった。他校では平面と立体と共同作品が多いが戸三小ではいくつも作品があり、児童数の関係もあると思うが、よいと思った。先生方のこの展覧会を成功させようとする思いが体育館に詰まっています、豊かな気持ちになった。
- (委員) ディスプレイの方法もよかった。
- (委員) 展覧会というと、同じ物を作らせて同じ物が並んでいるイメージがあつたが、作品を見てそれぞれに個性があり、同じ物を作っているように見えるが全部違う。子供たちが全部考えて発想をしているのが伝わってきて発想できる子供たちが育ってくれて嬉しい。
- (委員) 来年は、何になるのか。
- (校長) 来年は創立100周年事業になる。100周年に向けての取組を大きな行事としていく。式典や児童集会など、子供たちの豊かな発想、豊かな思いを表現して皆さんに賞賛いただきながら100周年を迎えることができ、その時に在校できている喜びを子供たちが宝物にできるような行事にしていきたい。自分たちが100周年をお祝いしたいという思いで、今から上級生を中心にリーダー会議をし、「どんなお祝いをしようか」と来年度を待たずに動き出している。来年度は卒業してしまっている6年生がアイデアを残して「動画を作って残していきたい」と後輩に託すつもりで提案して動いている。「お祝いの歌を作りたい」、「お祝いのダンスを作りたい」など。第一弾として「学校をピカピカにしたい」という事で、来週から「学校ピカピカ大作戦」として全員が雑巾を持って学校を綺麗にしていく。学習も含め全ての取組が100周年につながっていく。地域を知る、学校を知る、自分を知る、そして感謝をする節目の年にしていきたい。
- (委員) 式典の日には決まったのか。
- (校長) まだ、決まっていない。 1

- (委員) 同窓会からの帽子の個数を知りたい。
- (校長) コロナ禍以降、様々物価高騰し帽子の価格も高騰している中で学校としては、今まで同窓会から校帽を寄贈して頂いていたが、他校では自費で購入している。全額同窓会寄贈ではなく半額程度保護者負担にし、大切に扱ってもらうのもよいかと考えている。校帽の在り方を引き続き考えていきたい。
- (委員) 来年度の帽子が足りないのでは
- (校長) 交通安全の観点からは黄色い帽子が目立つという。低学年は黄色い帽子でもよいのではとの話もある。2年生も黄色い帽子で3年生から校帽にするのが実態に合うのではと考えている。1年生と2年生の違いがわかるように工夫が必要。
- (委員) 5年前に、2年生の黄色い帽子にラインを付けて1学期間使用した事がある。
- (校長) 考えながら、2年生は黄色い帽子にラインを付け、校帽は3年生から着用にしたい。 2
- (委員) 同窓会として試作品をみて、300個くらい作製したい。
- (委員) 校帽を被っていると、戸三の子だとわかるので、続けてほしい。
- (委員) 祝賀会は、二上講堂を会場にケータリングを利用して実施ができる。実行委員会を立ち上げ、運営していきたい。

- 〔補足〕 1  
式典の挙行日は令和7年12月13日に決定しました。
- 2  
2年生の校帽は、現在使用している黄色い帽子に学校でスクールカラーのえんじ色のテープを装着加工することに決定しました。

次回 1月17日(金)  
道徳授業地区公開講座  
落語家 林家たけ平師匠 をお迎えして